公益社団法人 日本技術士会
The Institution of Professional Engineers, Japan

会報　　第2号
発行日　平成 25 年 1 月 1 日 発行人　公益社団法人 日本技術士会群馬県支部 広報委員会

支部長メッセージ

輝かしい新年を迎え、会報第 2 号の発行に当たり

公益社団法人　日本技術士会　群馬県支部　支部長　加藤　洋

平成 24 年 3 月 15 日に小職が、初代群馬県支部長に選任して以来 9 ヶ月が経ちました。その間、7 回の役員会の開催と 7 月 4 日に支部全体会合(45 名参加)並びに支部発足披露祝賀会(来賓 58 名、会員 50 名)を多数の会員及び来賓の出席の下、開催することができました。

群馬県支部は、平成 24 年 12 月現在で、正会員 93 名、準会員 41 名の合計 134 名の会員を有する組織となりました。支部長就任の挨拶の時、群馬県支部の今後の運営に当たっては、提携群馬県技術士会の基本的考え方を引き継ぎ、群馬県支部は、『技術士の品位の保持、専門技術の向上を図り、かつ会員相互の連絡を密にし、地域に密着し、技術士業務の啓発、地域経済・産業の発展と福祉の増進に寄与する』ことを目的とし、群馬県支部の会員の皆様のご協力を得て、技術士 CPD 活動はもとより地域社会にもアピールできる各種活動を展開して行く事を、お約束致しました。

具体的には平成 24 年度の活動と致しましては、11 月 2 日(金)に、株式会社　三国東洋　新潟工場の見学会を会員 10 名、一般 11 名、計 21 名の参加の下に実施致しました。　来年 1 月 18 日(金)には、群馬県立群馬産業技術センターにて、第 1 回講演会「ものづくり企業における製品検査技術」(12 月 14 日現在 55 名の参加申し込みあり)の開催を、また来年 2 月 22 日(金)には第 2 回講演会「再生可能エネルギー」を同産業技術センターでの開催を予定致しております。

平成 25 年度の支部活動としましては、6 月に講演会、10 月に見学会、そして再来年の 1 月に技術相談会の開催を計画しております。

今後の群馬県支部の活動に、ご期待戴くと共に、皆様方からの御指導、御鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

役員会概要報告

群馬県支部会報は基本的には、年 2 回（1 月 1 日、7 月 1 日）の発行です。従って、今回の群馬県支部会報（第 2 号）では、7 月 1 日以降の役員会について、その概要のみを報告致します。

■9 月度役員会（9 月 14 日（金））：

・役員会開催日を　10 月 19 日（金）
　　12 月 14 日（金）
　　平成 25 年 3 月 15 日（金）とする。

・CPD 行事計画として,下記を実施する。
　第 1 回見学会：平成 24 年 11 月 2 日（金）（株）三国東洋
　第 1 回講演会：平成 25 年 1 月 18 日（金）（テーマ：製品検査技術）
　第 2 回講演会：平成 25 年 2 月 22 日（金）（テーマ：再生可能エネルギー）

・群馬県支部ホームページの維持管理は次の通りとする。
　現在はホームページ原稿を支部で作成し、本部でアップロードを実施しているが、年内に、アップロードも支部で実施する。（注:平成 24 年 12 月 21 日実施済）
　編集についての詳細は更に検討する。

・報告事項としては、群馬県支部企画委員として、下記の方々を新しく選任した。
　鎌腰雄一郎、大竹雅久、福田文雄の 3 氏。

■10 月度役員会（10 月 19 日（金））：

・支部組織の運営についての課題として、下記の事項が検討することとされた。
　役員会の回数、副支部長の定数、協賛団体に関する条件、会友制度の手続きなど。

・支部 CPD 行事の確認、予算書修正。

・本部からの依頼事項：
　月刊「技術士」の内容刷新に関わる検討。：回答は検討中
　JABEE 対象大学への調査について：

■12 月度役員会（12 月 14 日）(金)

・中小企業活性化研究会については、本部で特別委員会を設置し、H26 年より予算措置。

・JABEE の広報活動は一部実施する。(担当：樋口幹事)

・平成 25 年度の予算案は決定した。

・第 2 回講演会の詳細が決定した。

・支部ホームページの作成者及び承認者が決定した。

注：役員会議事録は群馬県支部ホームページに掲載されております。

CPD 行事結果報告及び予告

■第 1 回見学会報告

見学日時：平成 24 年 11 月 2 日（金）9:30 集合　　見学 13:00～15:00

見学先：　新潟県魚沼市十日町 360-13

　　株式会社　三国東洋　新潟工場

見学内容：

　見学者は会員 10 名、一般 11 名合計 21 名で、群馬県立群馬群馬技術センターに集合し、バスで、新潟へ向かった。(株)三国東洋　新潟工場では、会社概要、主要設備、主要製品、および生産の特徴について、懇切な説明が行われた。その後、工場内の生産状況を見学した。主要製品は、大型ストレージシステム（大型ディスクアレイ）用実装基板、インフラ用（エレベータ）実装基板、空調システム用実装基板、自動車用品（リモートエンジンスタータ）、車いす用エアセル用クッションなどである。特徴としては、RFID を活用した生産管理システムが実施されていた。そのほか工程管理システムや人員配置システムやスキルアップシステムなどについて、見学することができた。製造業が目指すべき生産管理の有益な情報を知ることができた。

工場見学状況：

■第 1 回講演会予告

講演会日時&場所：平成 25 年 1 月 18 日（金）群馬県立群馬産業技術センター第 1 研修室

講演テーマ＆演題：【ものづくり企業に於ける検査技術】「周辺視野概論」

講師：元日立製作所　佐々木　章雄様

■第 2 回講演会予告

講演会日時&場所：平成 25 年 2 月 22 日（金）群馬県立群馬産業技術センター第 1 研修室

講演テーマ：【再生可能エネルギー】

講演 1：演題：「群馬県中之条町に於ける再生可能エネルギー利用計画」

　　講師：山本政雄様　技術士（総合管理部門、上下水道部門）

　　中之条役場　企画政策課エネルギー対策室長

講演 2：演題：「森林・林業再生プランの実践～渋川県材センターの取り組み～」

　　講師：高橋伸幸様　技術士（森林部門）

　　群馬県森林組合連合会　総務部指導課長

新人紹介　　高年齢での技術士登録

鷲尾 和治　電気電子（発送配変電）・技術士補（上下水道）

本年 3 月、私は 66 歳の高年齢で電気電子部門(発送配変電)の技術士第二次試験に運良く合格し、直ぐに技術士登録をしました。寄稿のお話には年齢面で新人紹介記事には不相応と思い、一度は固辞しましたが「意固地」のそしり逃れのためお受けした次第です。前職を 61 歳で退職して、平成 18 年 5 月より前橋市元総社町の株式会社第一テクノ 群馬支店(以下､群馬支店)で顧問としてお世話になり、現在に至っております｡群馬支店には､営業内容別に次に記す通り 2 つの部があります。

(1) 「環境システム部」: 上下水道施設の技術提案、販売、施工、保守点検が主業務です。具体的施工例は、(a)上下水道施設や工業用水施設の機器・装置、(b)再生可能エネルギーの 1 例の小水力発電設備、(c)前橋市敷島公園ばら園の噴水や前橋公園臨江閣付近の流水設備のような水景施設等です。また産学官の協同研究も行っております。

(2) 「エネルギーシステム部」: 非常用ガスタービン発電機、ディーゼル発電機の技術提案、販売、施工、保守点検が主業務です。なお、エネルギーシステム部では、通常の業務を遂行しながら、昨年の 3.11 東日本大震災以降の緊急対策として、次のような顧客支援活動を展開して参りました。

① 非常用発電機(28kVA～450kVA)32 台を急遽調達して停電対策の顧客支援
② 発電機サービス要員 8 名が、計画停電地区の発電機トラブルに備えた出動と待機
③ 計画停電の継続に備えて、発電機の維持・管理計画の策定
④ 停電時に一般負荷へ電力供給するため、非常用発電機容量選定等の顧客との協議

私は、営業所の専任技術者として、(1)､(2)両部の営業活動への支援・補佐をさせて戴いております。実は私は今までに、3 社のお世話になっており、最初の職場は電機製造会社の前橋製作所でした。54 歳の退職まで、発電所・変電所や、ビル等の受変電設備用特別高圧開閉機器類の開発試験、品質保証、施工、点検等の他、太陽光発電設備(以下、PV 設備)等の施工も体験しました。前橋市大渡町の群馬県公社総合ビルの 1 階エレベーターロビーで、群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」が発電状況を御案内している PV 設備は、私の現場代理人業務のメモリアルの 1 つです。パネルはビル 3 階南側のテラスにあります。平成 24 年のゆるキャラ人気投票で全国第 3 位の「ぐんまちゃん」が、1 階ロビーで、皆様方のご来訪をお待ち申し上げております。第 2 職場(前職場)は、首都高速道路関連会社の川崎市浮島事業所(アクアライン西口直近の地上 8 階の建物内)でした。首都高速道路湾岸線の 22kV／6.6kV 受変電設備、4,500kVA と 4,000kVA のガスタービン発電機､海底トンネルの排水ポンプ等の運転・監視・保守点検や、海底トンネル内の交通管制等の業務に従事致しました。第 3 の職場の群馬支店での業務は前記の通りです。今後とも、ご指導よろしくお願い申し上げます。

6.6kV 875kVA ガスタービン

新委員紹介

企画研修委員就任に当たり

大竹　雅久　（機械部門）

こんにちは、大竹雅久と申します。この度、企画研修委員として群馬県支部の研修会や見学会等の企画運営に参画させていただくことになりました。

私は、現在、太田市にあるフロンティア国際特許事務所に勤務しております。知的財産権（特許、実用新案、意匠、商標）に関する出願手続等の権利化業務、調査業務、警告や訴訟への対応業務等を行っております。

私が技術士登録（機械部門、原動機）したのは、平成１６年です。当時、私は、三洋電機株式会社に勤務しており、スターリングエンジンコジェネレーションシステムの開発や、スターリングサイクルを用いたヒートポンプの開発を行っておりました。三洋電機株式会社には約２２年間勤務し、その間、二酸化炭素冷媒を用いたヒートポンプや冷凍機の開発、マイクロガスタービン廃熱利用機器の開発、小型風力発電機の開発等を経験いたしました。

ところで、近年、中小企業でも生き残りをかけて、新技術の開発はもちろんのこと、自社ブランド製品・役務の新規事業化や、異分野との新連携、生産拠点の海外移転等、常に新しい課題に取り組んでいることと思います。知的財産権に関しても、従来は、取引先大企業に全て任せておけば良かったものが、自社主体の新しい事業を展開することにより、今後は、自社で独自に管理しなければならない場面も多くなってくると思います。

しかしながら、特許出願経験の少ない或いは全くない中小企業にとっては、知的財産権を的確に管理することは、容易なことではありません。知的財産専門の部署を持たない企業では、経営者や開発を行う技術者の負担は、大変大きなものとなります。私は、そのような企業の皆様を、知的財産権に関して、開発から権利取得、権利活用まで総合的に支援し、少しでも地域経済・産業の発展に貢献したいと考えています。

さて、企画研修委員についてですが、技術士会の研修会や見学会は、技術士としての技術研鑽や会員相互の交流の場として大変重要なものです。私も企画研修委員として、研修会等を充実させ、皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思います。

また同時に、企画研修委員の活動を通じて、私自身も資質向上に努めたいと思っています。現在の私の業務は、開発を行っていた頃よりも幅広い技術分野を取り扱っています。特許は技術的思想の創作を保護するものですから、業務を行う上で技術的知識が不可欠です。研修会等で様々な業種の広範な技術分野に接することができればと考えています。

また、研修会等に参加される会員各位や企業の皆様と積極的に意見交換し、交流を深めていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

総務委員会通信

第１回関東甲信地域支部長会議報告

副支部長（総務委員会委員）水口正彦

平成 24 年 10 月 11 日（金）13 時 30 分～17 時 30 分、日本技術士会葺手第 2 ビル 5F 会議室において、内村会長、清水副会長の出席のもと、第 1 回関東甲信地域支部長会議が開催されました。ここでは議題の一つ「月刊技術士刷新検討協力、巻頭言執筆依頼等について」の中から、CPD 実施の機会として利用できる“Pe-CPD”システムについて報告します。

2、“Pe-CPD”システム

日本技術士会の HP のトップページから、“Pe-CPD”システムにダイレクトにアクセスできます。このコーナーでは、技術士の方の CPD（Pe-CPD）について、実施計画から登録内容の管理まで一貫して HP を通じて行えると共に、会員の方は各種講演内容が Web 視聴できますので、CPD 実施の機会としての利用ができます。

（1）HP からの行事検索と参加申込

主催者別、行事内容などから自由検索により、目的の行事が簡単に探せます。申込ボタンを押すことで、簡単に行事への参加申込が可能になっています。

（2）CPD 実績の Web 登録

HP より行事申込を行った行事情報については、基本情報を自動登録できるので、登録作業が非常に簡単です。煩雑なカードシステムと異なり効率的な利用・運用が可能です。

（3）CPD 実績の Web 統計管理

年別、課題別、形態別に集計票とグラフでわかり易く表示されます。APEC エンジニアの技術分野にも対応し、また、全体の表示期間の変更も自由に行えます。

（4）CPD 行事の Web 視聴

CPD 行事での講演内容を、HP から講演スライドと講師の声を臨場感を持って視聴でき、会員への CPD 教材として提供されています。

3、講演内容の Web 視聴

講演内容の Web 視聴は、部会・地域本部・県支部・委員会等で実施されている様々な講演などの CPD 行事内容について正確に記録し、当日出席できなかった会員が CPD 実施の機会として、臨場感をもって利用することが可能な Pe-CPD システムを運用しています。

その特徴は、講師が講演で使用されたパワーポイントの画面と講師の音声が同期を取って収録され、インターネットを介して全国の会員が聴取できところにあります。CPD 講演会内容の Web 掲載用収録状況は、平成 24 年 10 月 1 日現在、268 件となっています。

関東甲信地域については、8 県の全てに県支部が設置されました。会員数、役員数等の規模や委員会など事業運営体制の違いが大きくありますが、それぞれでの運営が開始されました。群馬県支部の事業推進に当たりましては、設置の目的を早期に実現できますよう多くの皆さまの参加・協力をお願いします。

企画研修委員会通信

企画研修委員会よりのご挨拶

企画研修委員長　山本亮一

１．第１回見学会の振り返り

11 月 2 日(金)には、7 月の支部発足会以来の公開行事である第 1 回見学会を行いました。新潟県魚沼市の（株)三国東洋様のご好意により工場見学をさせて頂きました。電子基板への部品実装工程を間近で見せて頂き、参加者一同、大変勉強になったところです。

今回、県外への工場見学ということで、貸し切りバスを仕立てて、参加者一同、同乗して現地に赴きました。道中、昼食休憩時などでは、参加者一同、和気藹々と食事を取ったり、お土産物を物色したり、などなど、目的の工場見学以外の場面でも、大変楽しい見学会でした。

三国東洋様からは、魚沼市ものづくり振興協会の活動として、逆に群馬県内への見学会など、継続的な相互交流のお申し出も頂きました。その際には、会員皆様にもお力を貸して頂き、先方様のご期待に添いたいと思っております。

２．本年度の今後の CPD 関連企画のご案内

(1) H25 年 1 月 18 日(金)　第 1 回 CPD 講演会

「周辺視目視検査法」で非常に高名な佐々木章雄先生を講師にお招きし、お話を伺います。先生は、ものづくりには欠かせない目視検査に科学を導入して、非常に高い成果を上げられております。定員オーバー必至のプログラムです。

(2) H25 年 2 月 22 日(金)　第 2 回 CPD 講演会

第 2 回目のテーマは、「再生可能エネルギー」です。講師には、これからメガソーラーや小水力発電などに町を挙げて取り組もうとしている群馬県中之条町、またバイオマスの活用を進めている群馬県森林組合連合会より、それぞれ山本政雄様、及び高橋伸幸様お招きします。お二人とも会員技術士でもありますので、時代の最前線の生々しいお話が聞けるものと思います。

３．終わりに

最後に、前回と同じで恐縮ですが、本委員会より会員の皆様に、以下のお願いを致したく思っております。

・各行事への積極的なご参加
・企画テーマ案のご提案
・企画委員会への参画、運営サイドとしてのご協力

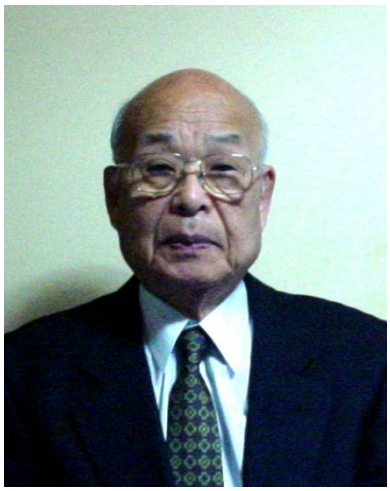
今後とも、よろしくご協力お願いします。

広報委員会通信

広報委員会だより

広報委員長　辺見　勇

このたびは、新委員として企画委員会に入られた大竹雅久様、また、新人としては、経歴、実績豊富であり、新人とは言い難い鷲尾和治様に執筆をお願いし、快諾を戴き、会報に掲載することができ、誠に有難うございました。役員の一人として御礼申し上げますとともに、今後とも、公益法人　日本技術士会群馬県支部を通して、ご活躍されますようお願い申し上げます。



今後も、新人あるいは新委員のご紹介は進めて参りますが、活動の内容を豊富にし、会報をご覧いただく皆様に各種の有益な情報を提供していくことが使命であると考えます。

つきましては、いろいろな専門分野で、また、多くの企業や公共機関や教育機関などで、ご活躍の会員の方々の活動状況なども取り入れて、会報に掲載して行きたいと考えております。

「群馬県支部ホームページ」について

公益社団法人日本技術士会群馬県支部のホームページの編集を担当しておりますので、その内容について、ご説明致します。

ホームページを開きますと、「ホーム」画面が現れます。ここには、群馬県支部関係で 3 つの項目があります。

○ 一つは、左端に縦に並んでいる項目で、上から、「群馬県支部のご案内」、「行事案内」、「活動状況」、「お知らせ」、「資料庫」となります。「群馬県支部のご案内」では、「支部長挨拶」、「支部組織」、「所在地」などを掲載致します。次は、「行事案内」で、ここには「全体会合」や CPD 行事である「講演会」、「見学会」などを掲載致します。次は、「活動状況」で、ここには「役員会議事録」、「行事報告」、「支部会報」などを掲載致します。その次の「お知らせ」は、行事以外のお知らせを行う場合掲載致します。現在のところは未使用です。最後は「資料庫」で、ここには、講演会で、講師が話された資料を掲載致します。

○ 二つ目は、中央部に縦に並んでいる「最新情報」と「更新情報」です。「行事予定」は「最新情報」として、ここに必ず掲載致します。その行事が終了致しますと「更新情報」のコーナーに移動致します。「活動状況」および「報告」は最初から更新情報として掲載致します。

○ 三つ目としては「支部会報」につきましては、右側に「支部会報」のボタンがありますので、ここから直接入ることができます。

編集後記

技術士の活動について

経済的には、困難な状況が続いてきましたが、中堅企業や中小企業も新しい「ものづくり」に真剣に挑戦しております。我が国は資源に乏しいので、加工貿易や、輸出や、海外進出で経済を発展させて行く事が大切です。知恵を絞り、能力を高めて、技術力を駆使して、発展させて行かなければなりません。

IT 技術、精密加工技術などの応用が望まれます。これからは、東南アジアやインドなどとの連携を強化して行く必要があると言われております。小生も 20 年前は、アフリカのアルジェリアの広く長い国境や砂漠を走り回りました。また、インドとは技術提携で 10 年以上も関わりました。

技術士は、いろいろな企業に対して、技術指導、技術調査、技術開発、技術評価の面で活動しており、今後も伸ばして行く必要があります。特に、大学や公的機関と連携し、ご活躍されますことを切望しております。（辺見）

広報委員会

委員長	辺見　勇（機械）
委員	大山健一（機械）
委員	松本泰彦（農業）